

人物・自動車出入りカウントシステム



画像処理伝送装置
OS Box

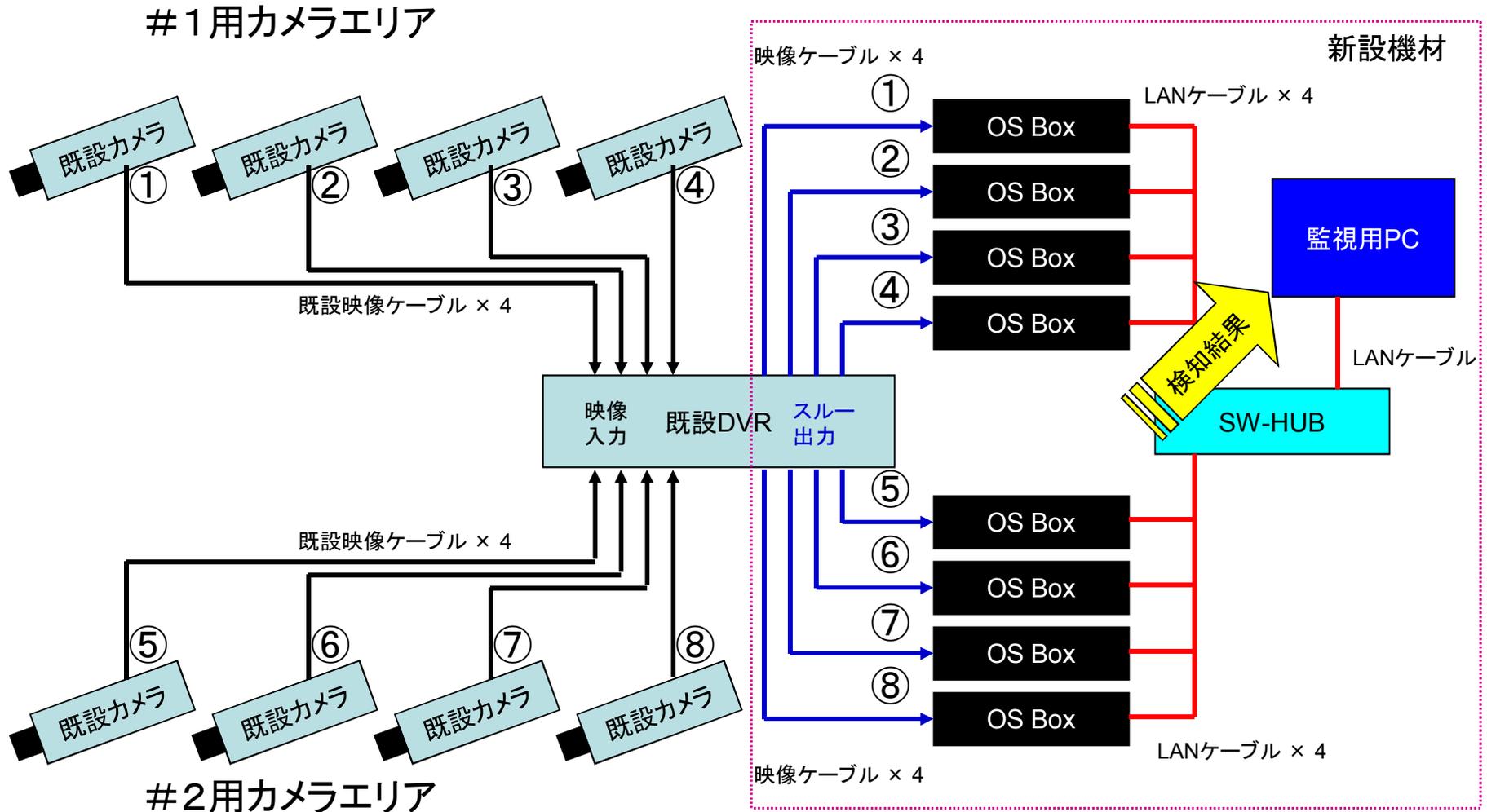
人物と自動車を区別し、移動方向を認識。
一方通行の箇所では発報信号

奥田商事株式会社

システム概要

- 既設カメラの映像を利用し、画像処理にて人物・自動車の検知を行う。
 - 移動方向をIN、OUTでそれぞれカウント。
 - 監視PC上にて警報を出す(一方通行等)。
 - 不審者が停留し続けている間、警報を行う。
 - 不審者・不審車両を検知した際には、監視PC上にて検出前後の映像を録画する。
- * カメラ性能は現場の撮影が昼夜問わずしっかり行われていることが条件。

システム構成(カメラ8台時)



※カメラ1台に対して画像処理装置を1台使用します。

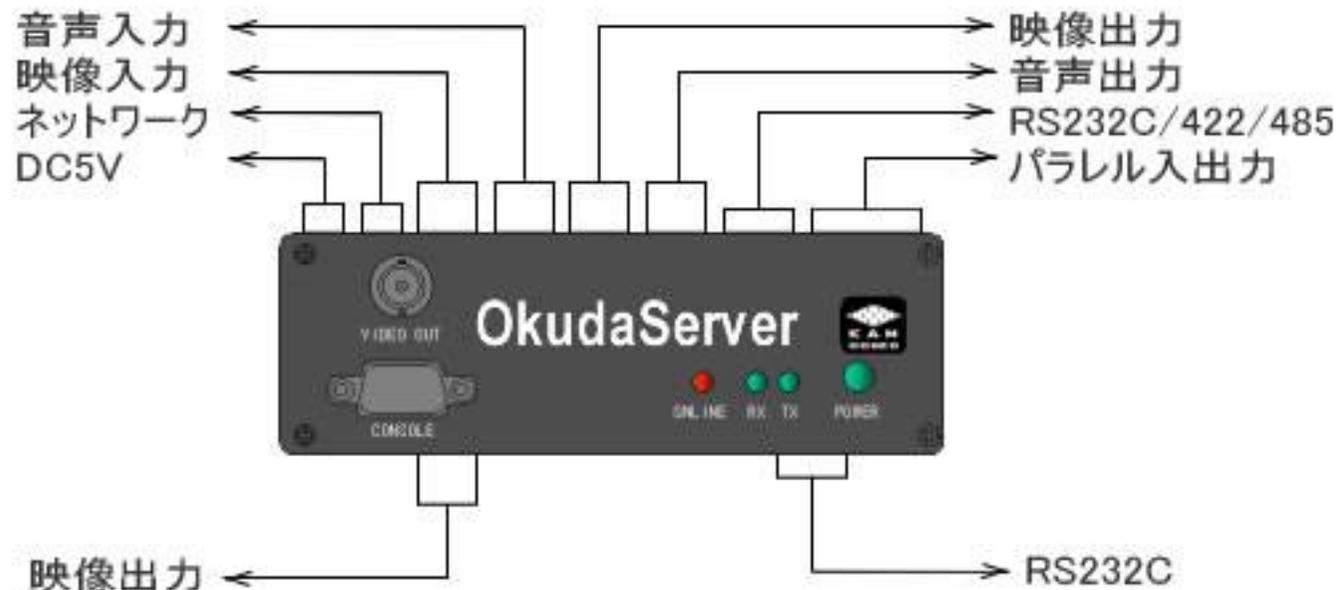
システムイメージ（動画切り抜き）

このエリアで
車と人物を区別し、カウントします。



下から上の移動をOUT、上から下の移動をINでカウントしています。
左下画像MANのOUT数値が2へ
増えているのが分かります。

OkudaServer OsBox-S 300 シリーズ 基本機能と 設置推奨場所



・監視・モニタリングシステム

学校、幼稚園、保育園、老人ホーム、介護センター、病院、動物病院、ペットホテル、マンション、図書館、博物館、美術館、デパート、スーパー、コンビニ、遊園地、テーマパーク、ゲームセンター、パチンコ店、競馬場、競輪場、競艇場、駐車場、商店街、無人店舗、銀行、ATM、郵便局、消費者金融、発電所、変電所、送電所、河川、ダム、水門、空港、無人駅、鉄道ホーム、線路・踏切、交差点高速道路、料金所、倉庫、配送センター、工場 など

・主な大規模システム採用事例

大規模再開発ビル群、テレコムセンター、電力データセンター など

・特殊監視システム採用事例

自衛隊基地監視、警察施設監視、国際港湾監視、スーパー防犯灯 など